

# 鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

令和7年7月29日(火)  
感染症対策センター  
(衛生環境研究所)

## 令和7年第23週から第26週までの患者報告の状況

### 1 報告の多い疾病(急性呼吸器感染症(ARI)定点の急性呼吸器感染症を除く。)

今回(23週～26週)4週 (R7.6.2～R7.6.29)	前回(19週～22週)4週 (R7.5.5～R7.6.1)	前々回(15週～18週)4週 (R7.4.7～R7.5.4)
1 感染性胃腸炎 (441) [↓ 78]	1 感染性胃腸炎 (519)	1 感染性胃腸炎 (649)
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (266) [↓ 22]	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (288)	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (294)
3 新型コロナウイルス感染症 (56) [↓ 32]	3 インフルエンザ (118)	3 新型コロナウイルス感染症 (170)
4 伝染性紅斑 (52) [↓ 28]	4 新型コロナウイルス感染症 (88)	4 インフルエンザ (163)
5 インフルエンザ (29) [↓ 89]	5 伝染性紅斑 (80)	5 伝染性紅斑 (74)
6 その他 (137) [↓ 2]	6 その他 (139)	6 その他 (183)
(合計 981)	(合計 1,232)	(合計 1,533)

※急性呼吸器感染症(ARI)定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数である。  
※[ ]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

### 2 前回との比較増減(急性呼吸器感染症(ARI)定点の急性呼吸器感染症を除く。)

減少した疾病	
インフルエンザ	75%
新型コロナウイルス感染症	36%
伝染性紅斑	35%
感染性胃腸炎	15%
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8%

### 3 急性呼吸器感染症(ARI)報告数

第23週から第26週の患者報告数は、6,358件であった。

<急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスとは>

咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

なお、急性呼吸器感染症(ARI)の症例定義を満たし、さらに下記の定点把握対象感染症で診断された場合、両方に報告されます。

平時より、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症を5類感染症に位置づけられました。

### 4 コメント

#### 【伝染性紅斑】

7月9日に県内全域の警報を解除しました。全国では流行が継続しており、特に、妊娠中に感染した場合、胎児へ影響する可能性があるため、注意が必要です。飛沫や手指を介して感染し、原因となるウイルスはアルコールが効きにくいいため、手洗い、咳エチケット等の感染予防をお願いします。

### 【百日咳】

小中学生を中心に患者報告が続いており、感染者数は既に昨年の年間報告数を上回っています。長く続く咳が特徴で、感染力が非常に強いため、注意が必要です。有効な予防法は予防接種であり、乳幼児期に定期接種を受けることが重要ですが、ワクチンの免疫効果は4~12年で弱まってくるといわれており、接種済みの方でも感染することがあります。ワクチン未接種である新生児や早期乳児が感染すると重症化しやすいため、赤ちゃんや妊産婦のおられるご家庭では、周囲の家族などが感染源とならないよう特に注意してください。咳などの症状がある場合は早めに受診し、手洗い、マスクの着用、咳エチケット等の感染予防をお願いします。

### 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

一定数の患者報告が続いているため、引き続き手洗い、咳エチケット等の感染予防をお願いします。

また、まれにA、B、G群等の溶血性レンサ球菌の感染によって、突発的に発症し、重い症状を引き起こし、急速に多臓器不全が進行することがある「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」が全国で増加しています。主に大人が発症し、県内でも確認されています。傷口から感染する場合がありますため、土に触れた手などの不潔な手で直接傷口を触らないなど、小さな傷でも清潔に保ち、手足の腫れや痛み、発熱など感染の兆候が見られる場合は直ちに医療機関を受診しましょう。

### 【感染性胃腸炎】

ノロウイルス等による感染者数が多い状況であり、注意が必要です。原因となるウイルスはアルコールが効きにくいいため、トイレやオムツなどの汚物処理の後や、調理、食事の前などには、手洗いを徹底しましょう。感染した人の便や吐物を処理する場合には、ゴム手袋やマスクを着用し、処理後の床や感染した人が触れた物などは、塩素系の消毒剤を使用して消毒しましょう。

### 【ダニ媒介感染症】

ダニが媒介する重症熱性血小板減少症候群(SFTS)と日本紅斑熱の患者が報告されているため、注意しましょう。マダニは春から秋にかけて活発となることから、野山等に入るときは、長袖、長ズボンの着用、ダニ忌避剤の使用などの予防対策をとることが必要です。

# 令和7年第23週～第26週の報告患者数

令和7年7月4日 作成

区分	今回報告患者数 第23週～第26週(4週分)					前回報告患者数 第19週～第22週(4週分)				前々回報告患者数 第15週～第18週(4週分)				前回比 増減	令和7年 患者数 累計
	東部 (12)	中部 (6)	西部 (11)	計 (29)	増減	東部 (12)	中部 (6)	西部 (11)	計 (29)	東部 (12)	中部 (6)	西部 (11)	計 (29)		
急性呼吸器感染症(ARI)定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
1 インフルエンザ	5	18	6	29	-89	19	68	31	118	31	39	93	163	-75%	3,825
2 新型コロナウイルス感染症	21	17	18	56	-32	28	27	33	88	50	52	68	170	-36%	2,582
小児科定点数	(8)	(4)	(7)	(19)		(8)	(4)	(7)	(19)	(8)	(4)	(7)	(19)		
3 咽頭結膜熱	12	9	4	25	-5	19	4	7	30	15	4	4	23	-17%	152
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	177	46	43	266	-22	182	52	54	288	216	35	43	294	-8%	1,744
5 感染性胃腸炎	243	91	107	441	-78	218	102	199	519	283	160	206	649	-15%	3,026
6 水痘	4	5	12	21	-6	5	16	6	27	17	26	5	48	-22%	143
7 手足口病	4	3	3	10	-4	7	0	7	14	0	2	0	2	-29%	41
8 伝染性紅斑	36	7	9	52	-28	55	4	21	80	60	1	13	74	-35%	350
9 突発性発疹	10	6	5	21	11	3	4	3	10	4	5	10	19	110%	90
10 ヘルパンギーナ	1	10	16	27	20	0	4	3	7	0	0	1	1	286%	37
11 流行性耳下腺炎	3	2	1	6	4	0	2	0	2	1	0	0	1	200%	10
12 RSウイルス感染症	6	2	7	15	-9	5	0	19	24	37	6	21	64	-38%	219
眼科定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
13 急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1
14 流行性角結膜炎	0	0	2	2	-4	4	0	2	6	9	0	1	10	-67%	29
基幹定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
15 細菌性髄膜炎	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0%	4
16 無菌性髄膜炎	0	0	0	0	-1	1	0	0	1	0	0	1	1	-100%	8
17 マイコプラズマ肺炎	2	4	2	8	-8	5	8	3	16	4	1	1	6	-50%	70
18 グラムジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
19 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	1	0	0	1	0	1	0	0	1	5	3	0	8	0%	12

※中部の基幹定点数は小児科定点数と共通のため、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)の件数は感染性胃腸炎の内数となります。

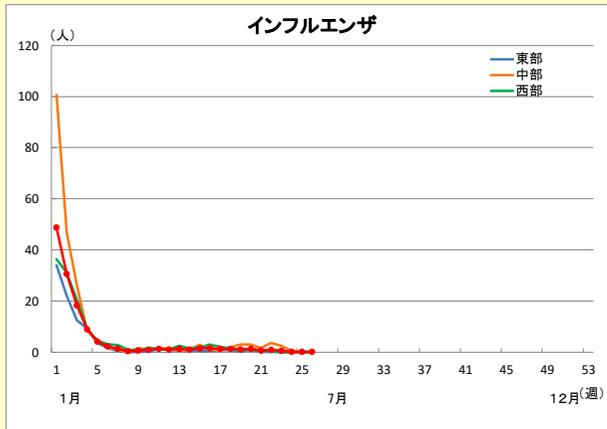
急性呼吸器感染症(ARI)定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
20 急性呼吸器感染症(ARI)	2,436	1,418	2,504	6,358	-319	2,706	1,575	2,396	6,677	3,104	1,300	2,289	6,693	-5%	19,728

※急性呼吸器感染症(ARI)の症例定義を満たし、さらに上記の他疾病で診断された場合、両方に報告されています。

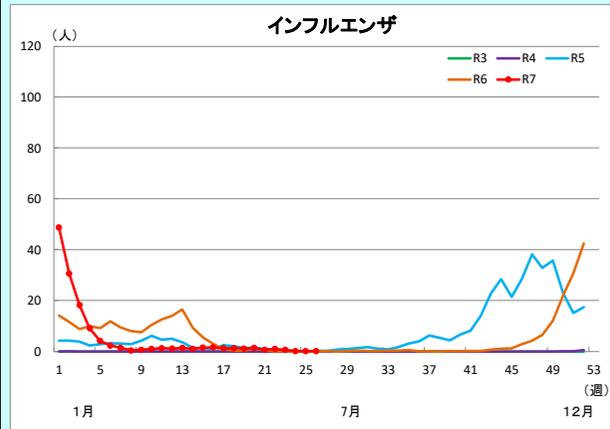
合計	2,961	1,638	2,740	7,339	-570	3,259	1,866	2,784	7,909	3,836	1,634	2,756	8,226	-7%	32,071
----	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	--------

※令和7年4月7日から急性呼吸器感染症(ARI)が追加され、「インフルエンザ/COVID-19定点」は「急性呼吸器感染症(ARI)定点」に変更されました。

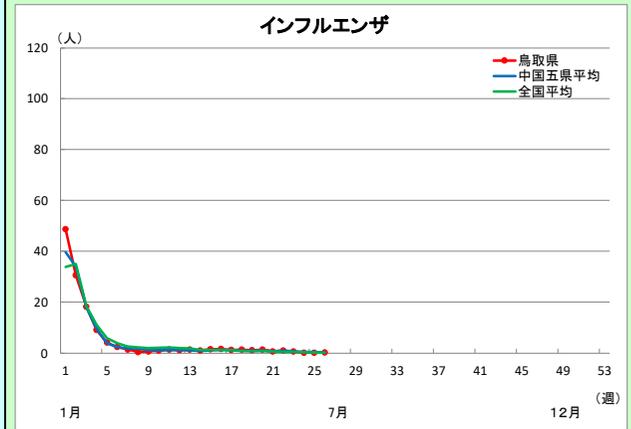
### 地区発生状況(定点当たり)



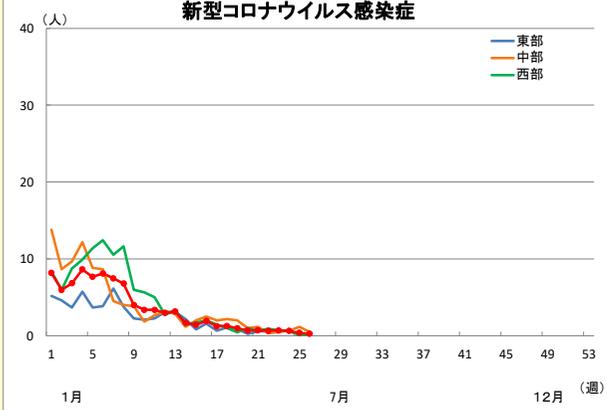
### 年次別発生状況(定点当たり)



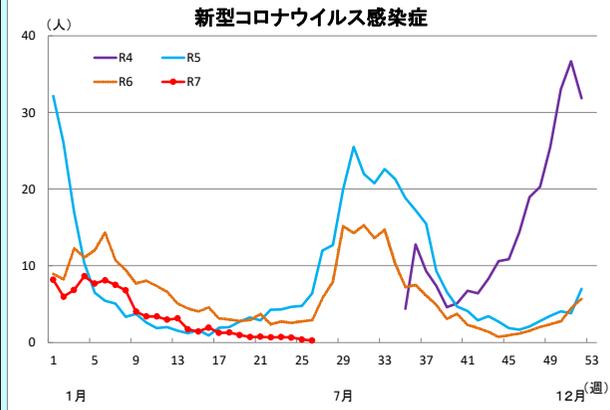
### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



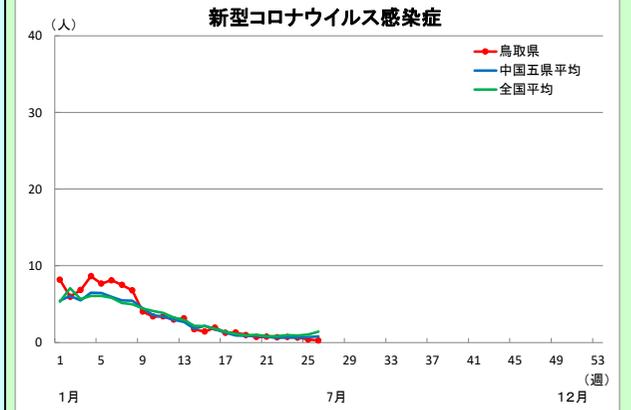
### 新型コロナウイルス感染症



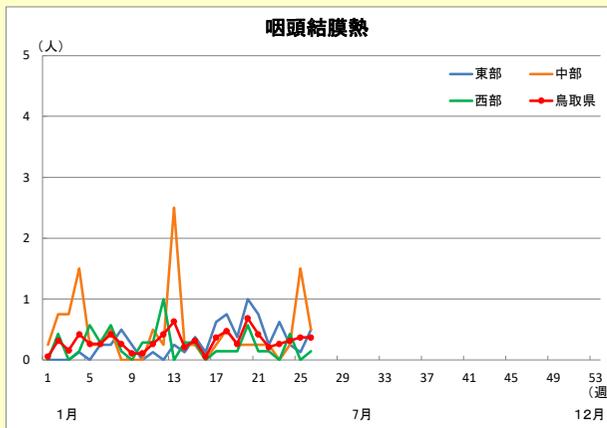
### 新型コロナウイルス感染症



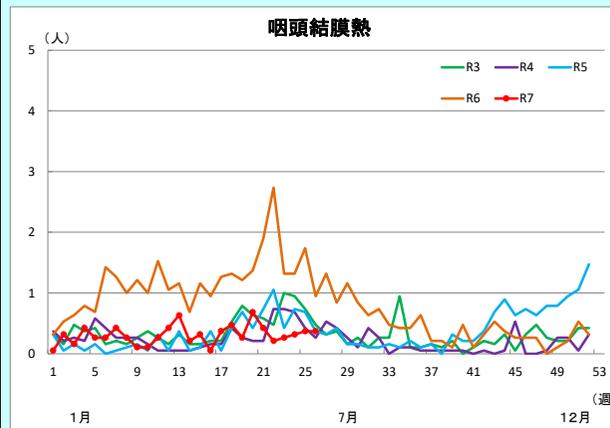
### 新型コロナウイルス感染症



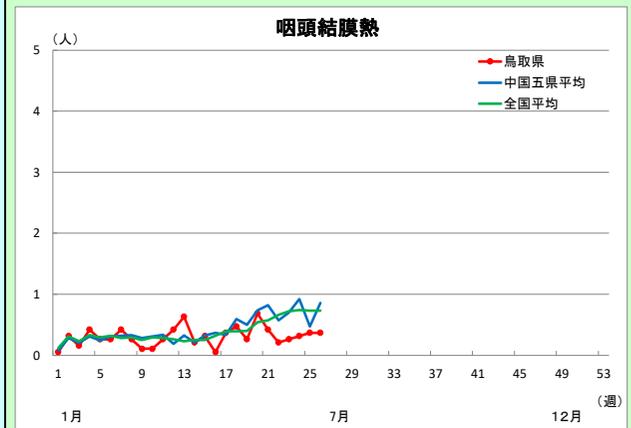
### 咽頭結膜熱



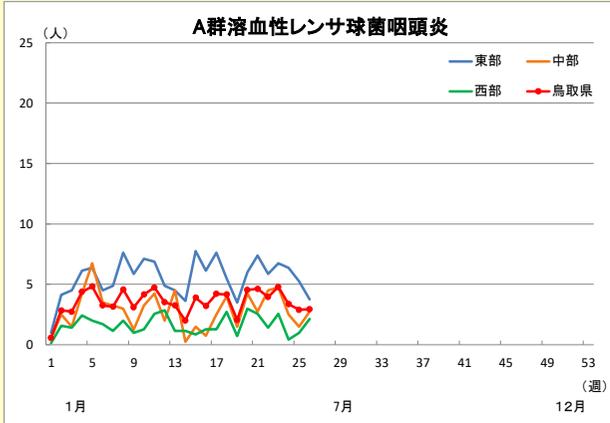
### 咽頭結膜熱



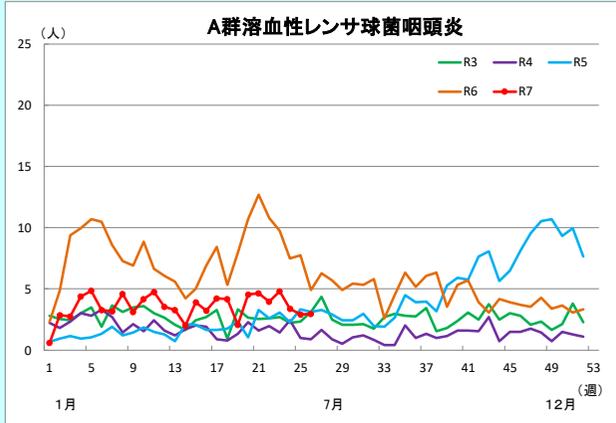
### 咽頭結膜熱



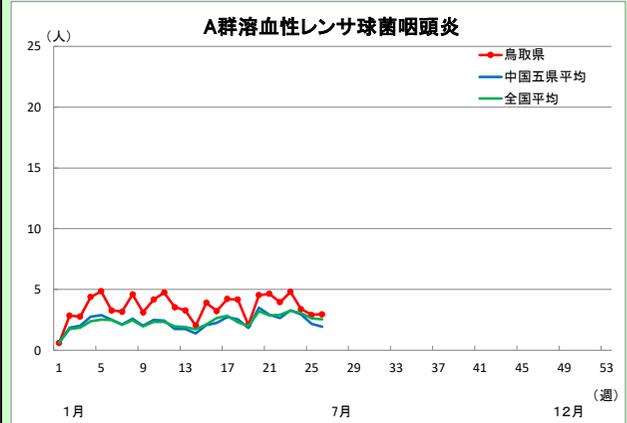
地区発生状況(定点当たり)



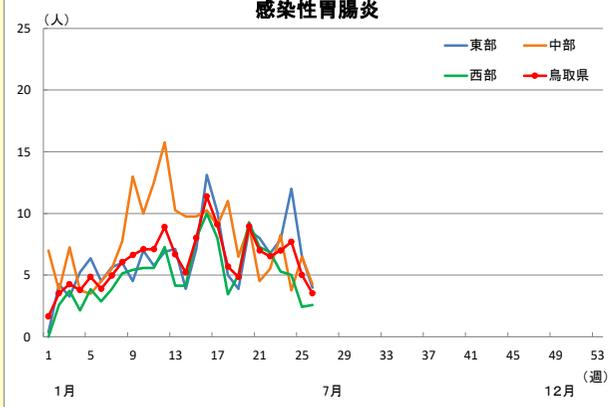
年次別発生状況(定点当たり)



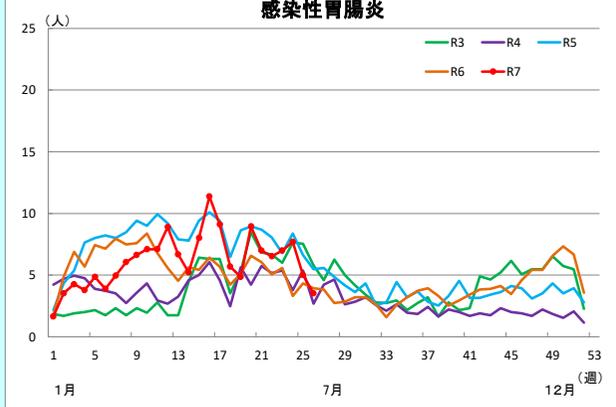
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



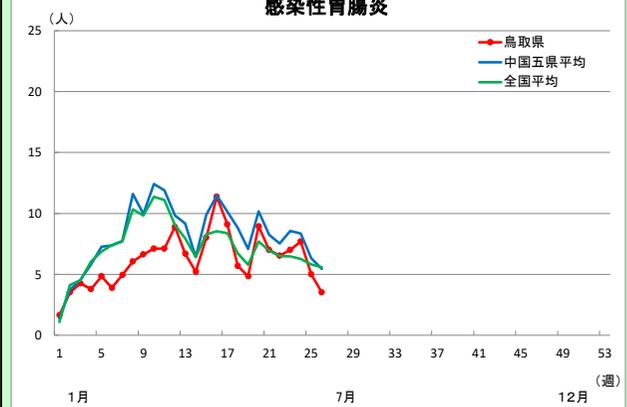
感染性胃腸炎



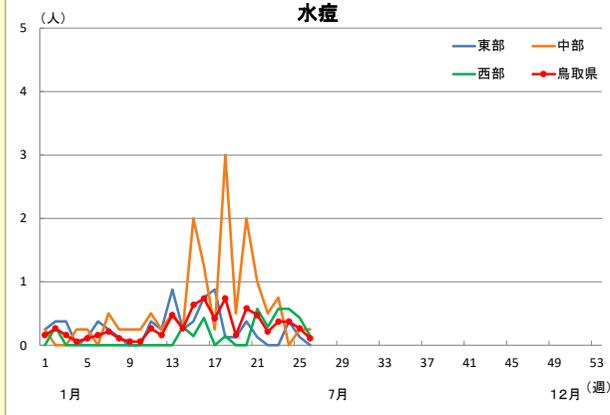
感染性胃腸炎



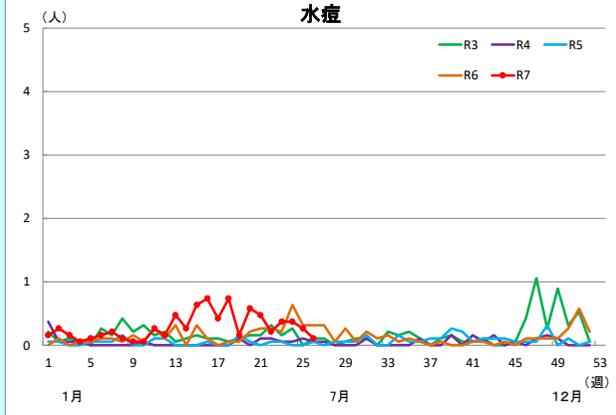
感染性胃腸炎



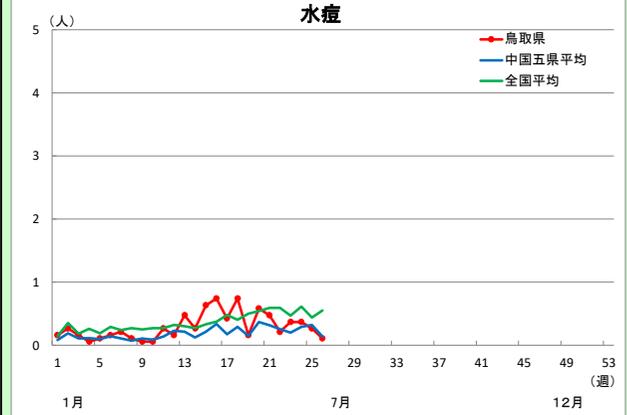
水痘



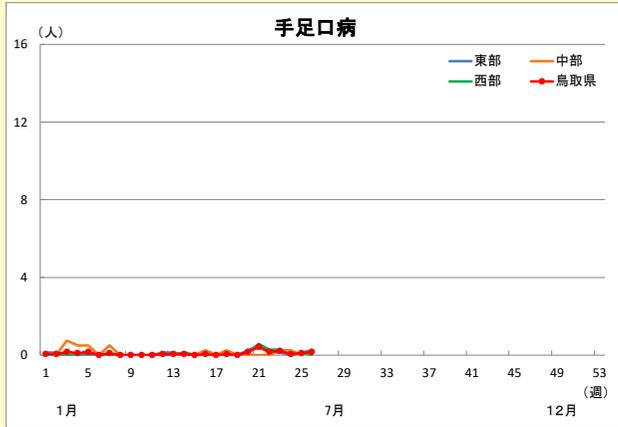
水痘



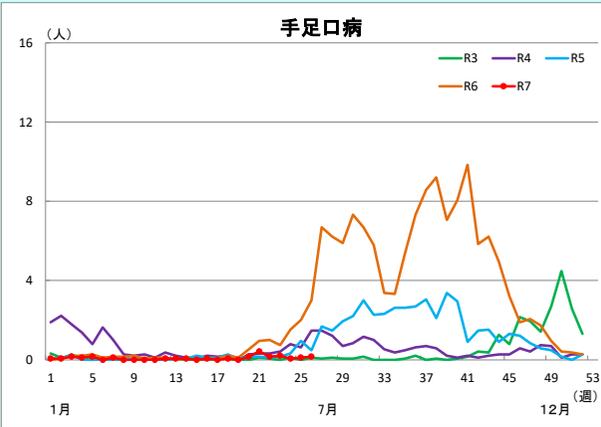
水痘



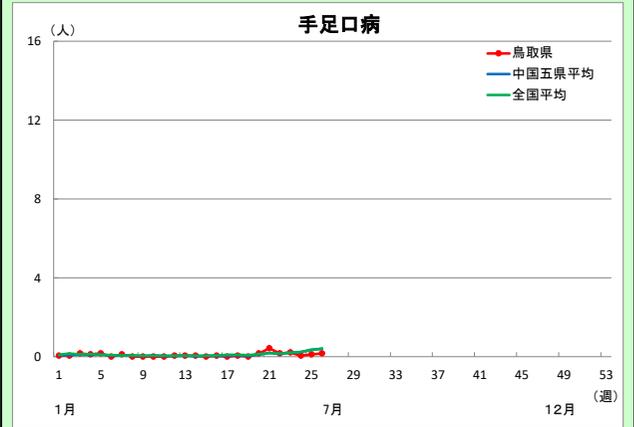
地区発生状況(定点当たり)



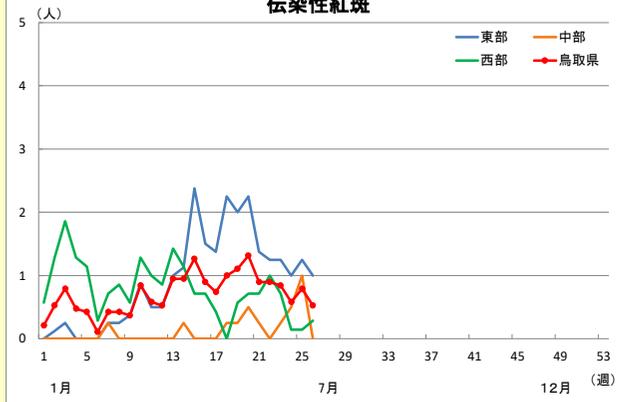
年次別発生状況(定点当たり)



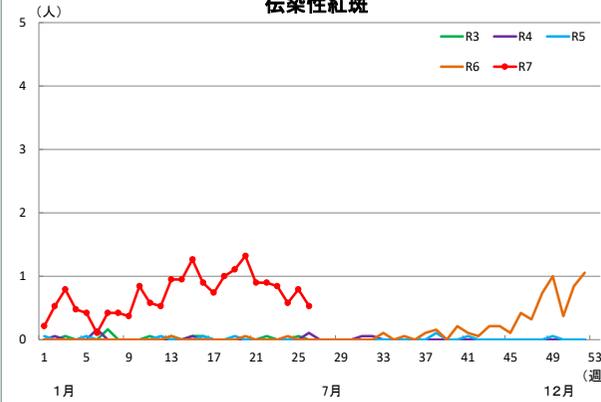
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



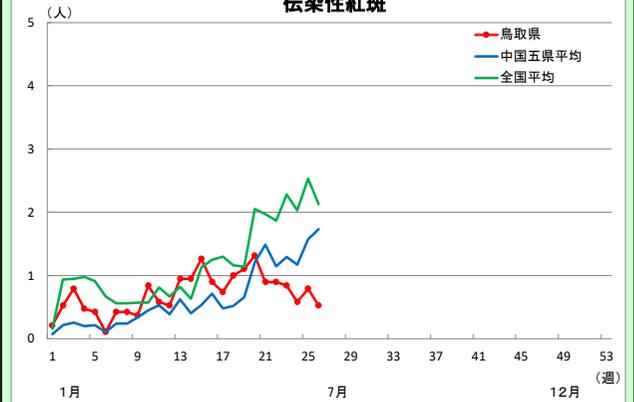
伝染性紅斑



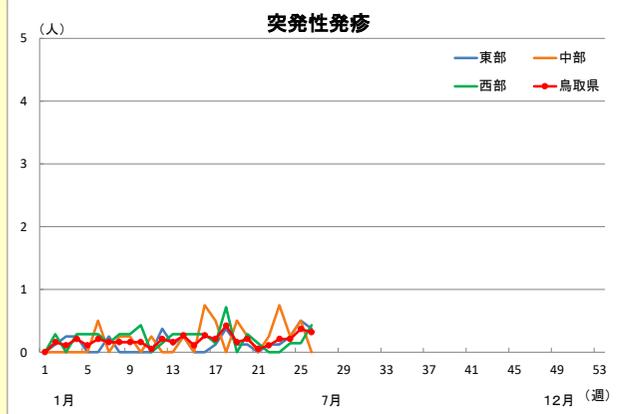
伝染性紅斑



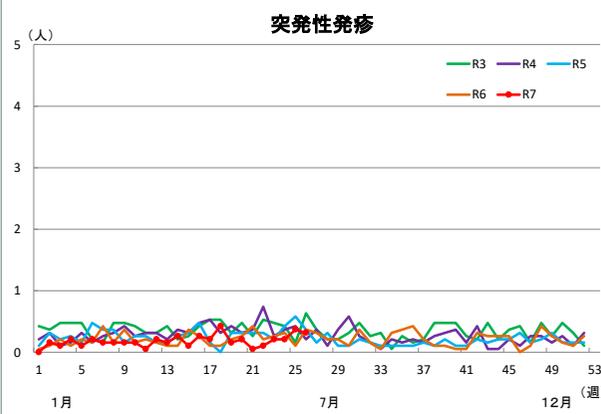
伝染性紅斑



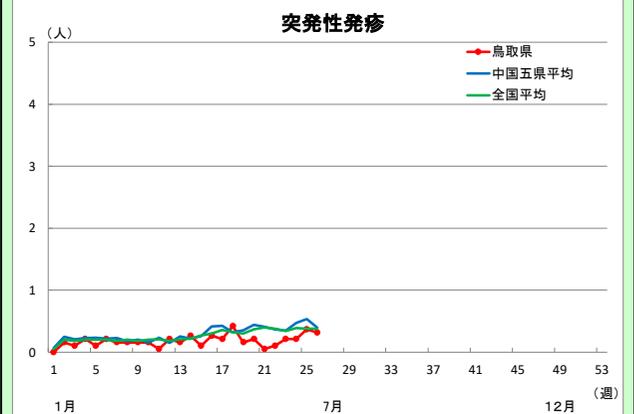
突発性発疹



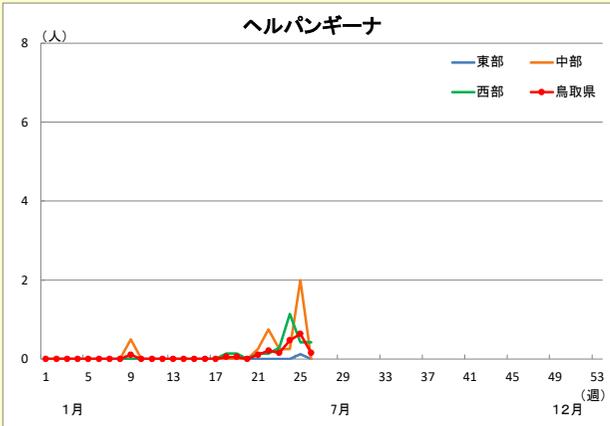
突発性発疹



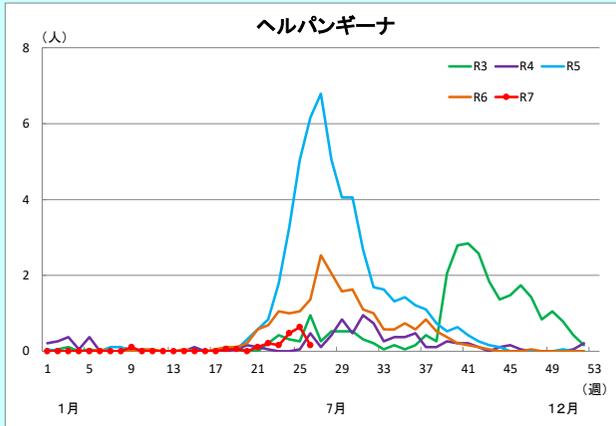
突発性発疹



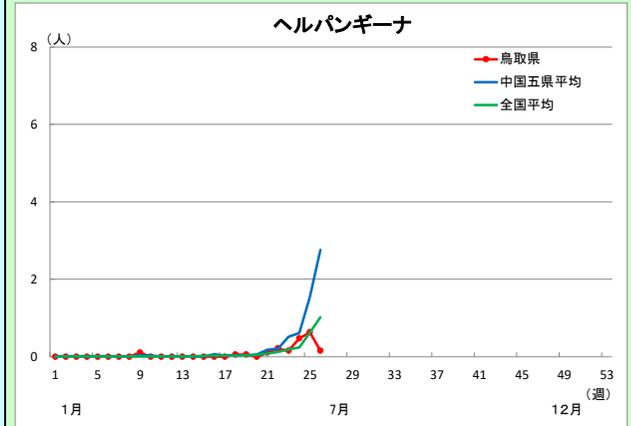
地区発生状況(定点当たり)



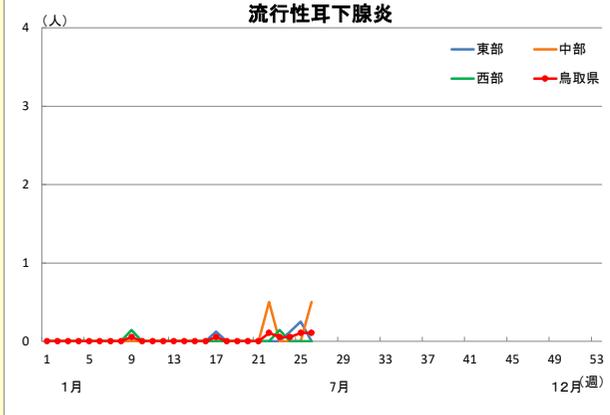
年次別発生状況(定点当たり)



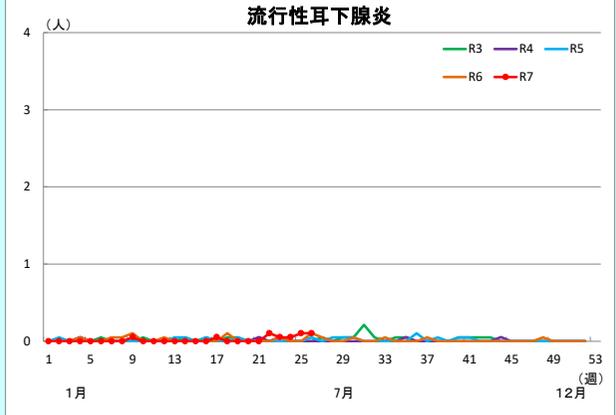
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



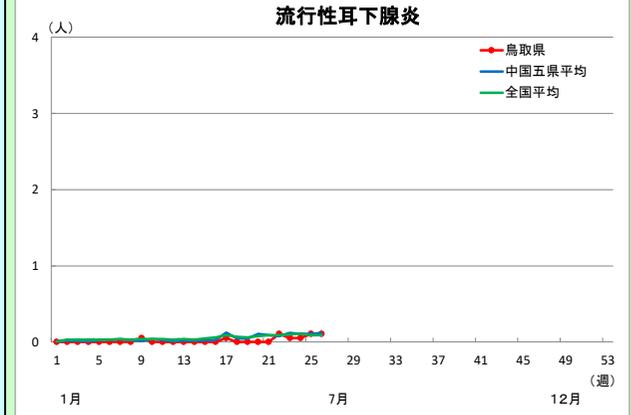
流行性耳下腺炎



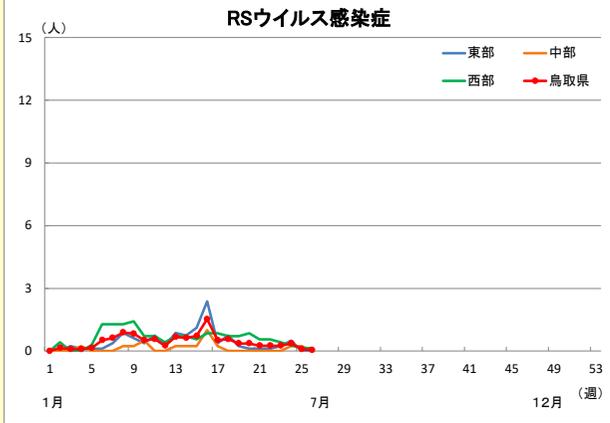
流行性耳下腺炎



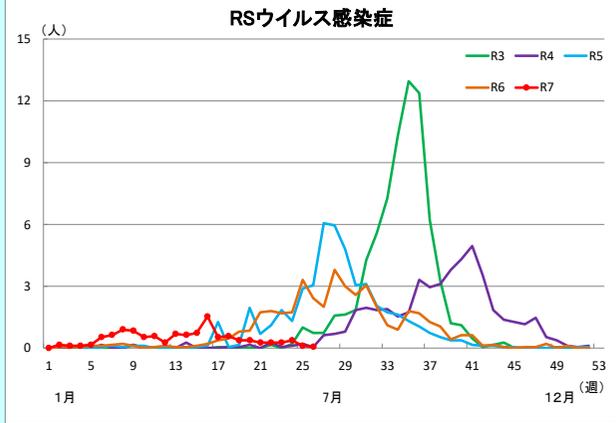
流行性耳下腺炎



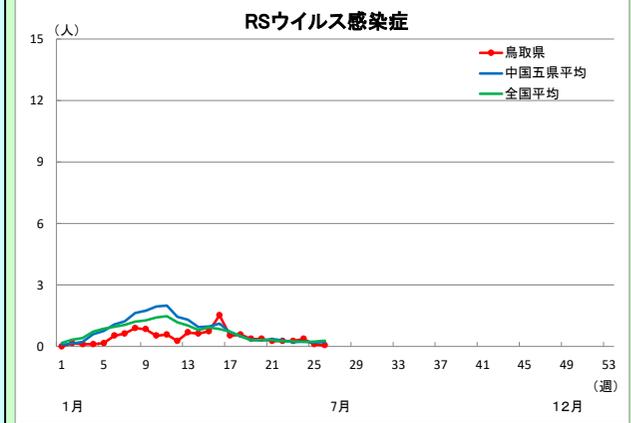
RSウイルス感染症



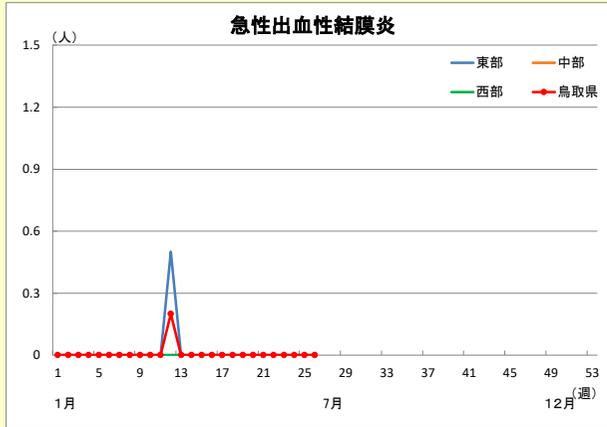
RSウイルス感染症



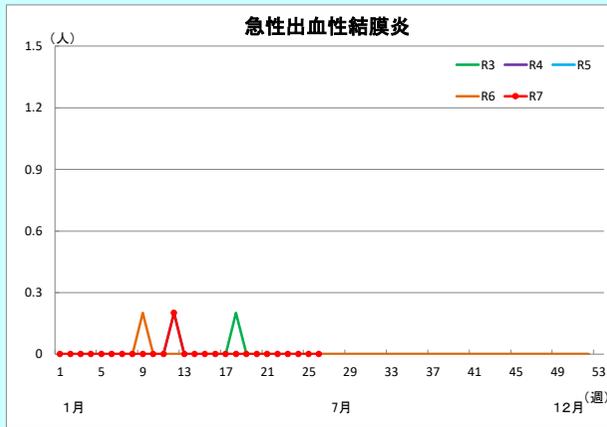
RSウイルス感染症



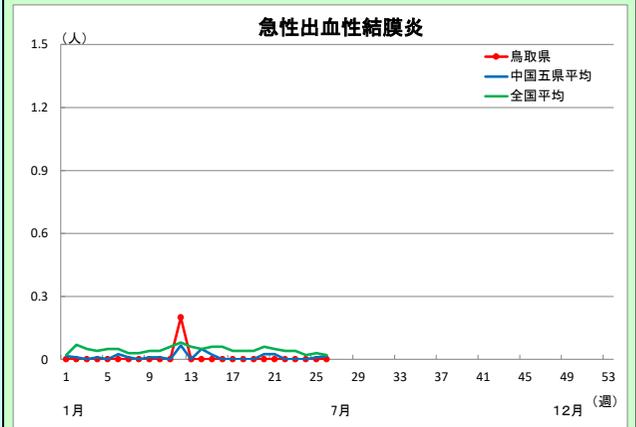
### 地区発生状況(定点当たり)



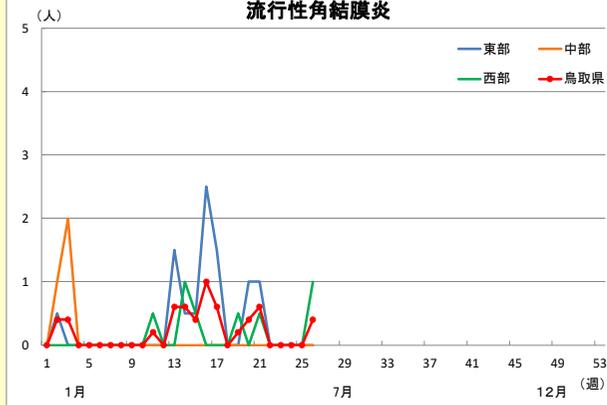
### 年次別発生状況(定点当たり)



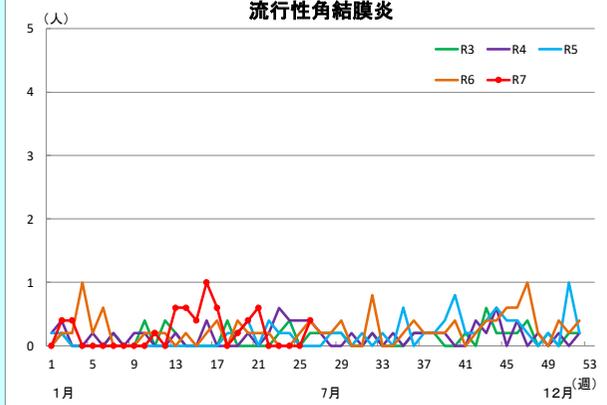
### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



### 流行性角結膜炎



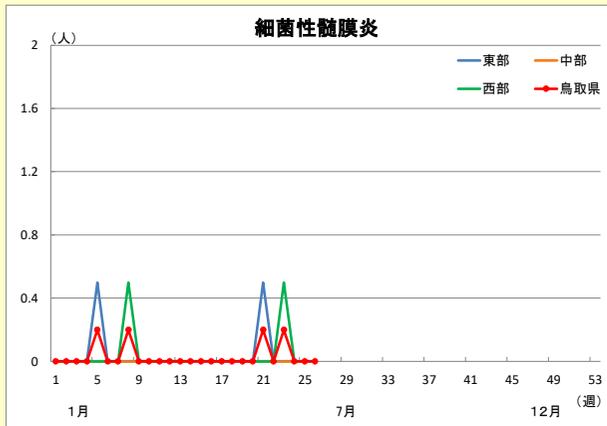
### 流行性角結膜炎



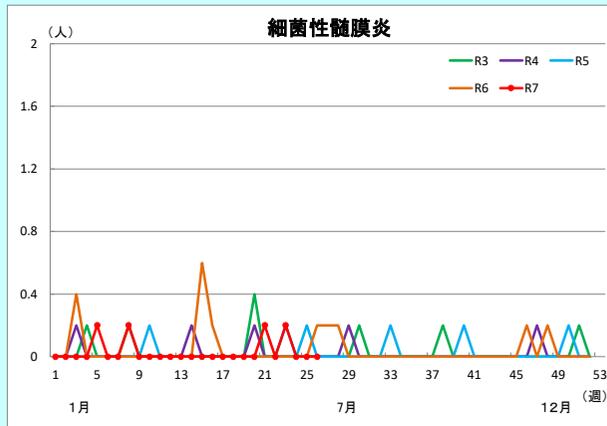
### 流行性角結膜炎



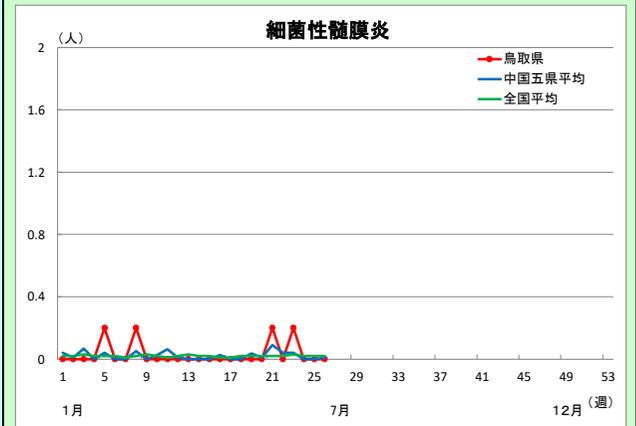
### 細菌性髄膜炎



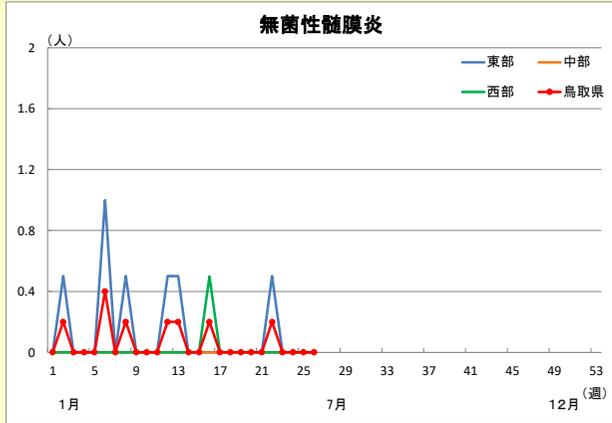
### 細菌性髄膜炎



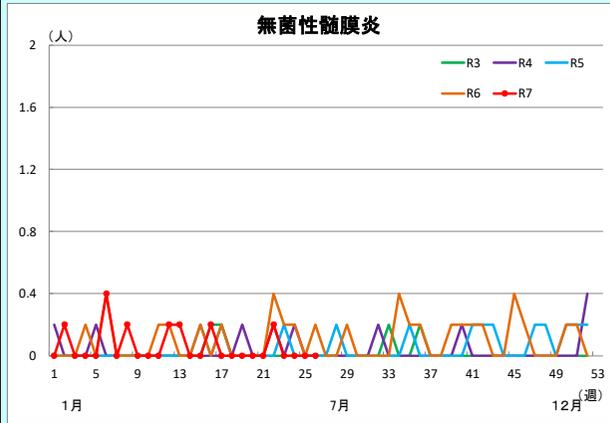
### 細菌性髄膜炎



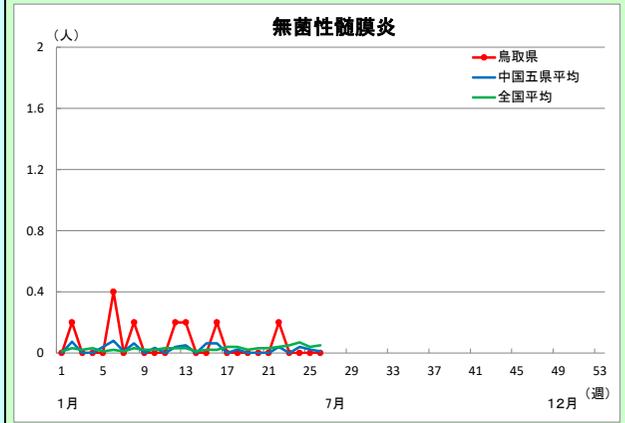
地区発生状況(定点当たり)



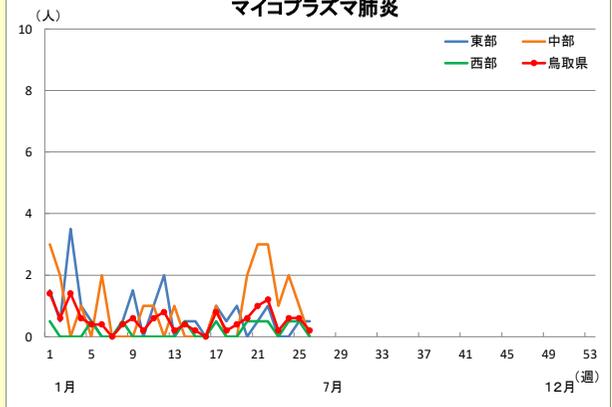
年次別発生状況(定点当たり)



中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



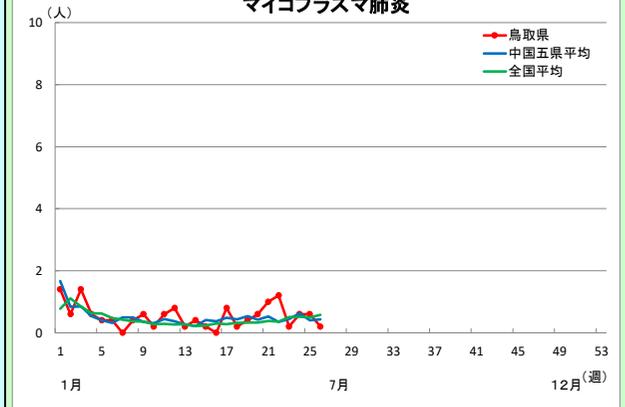
マイコプラズマ肺炎



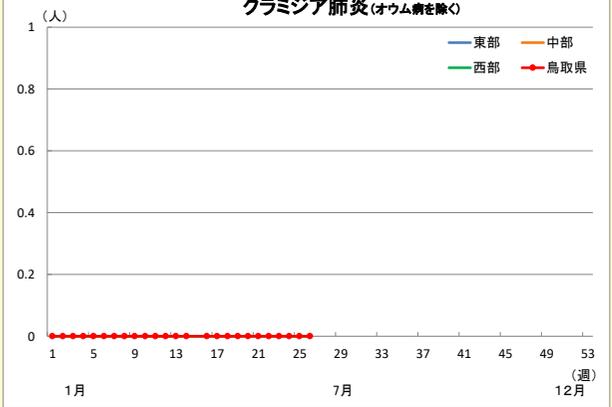
マイコプラズマ肺炎



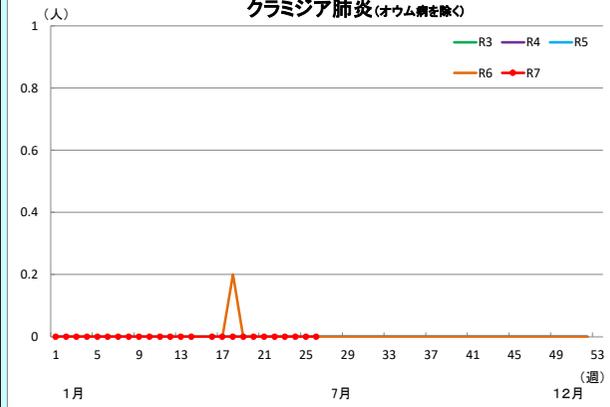
マイコプラズマ肺炎



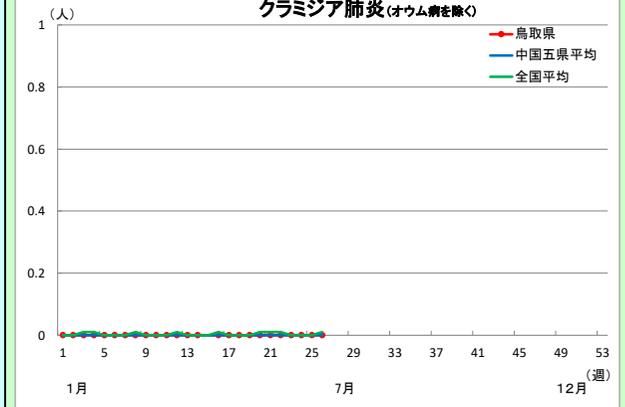
クラミジア肺炎(オウム病を除く)



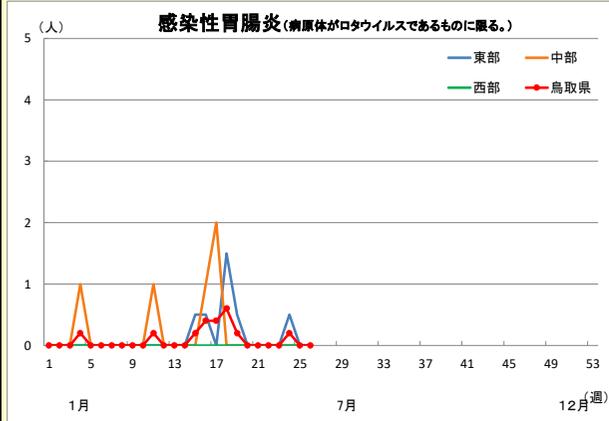
クラミジア肺炎(オウム病を除く)



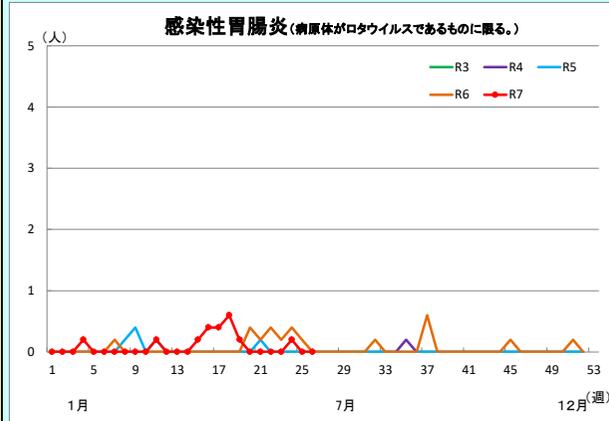
クラミジア肺炎(オウム病を除く)



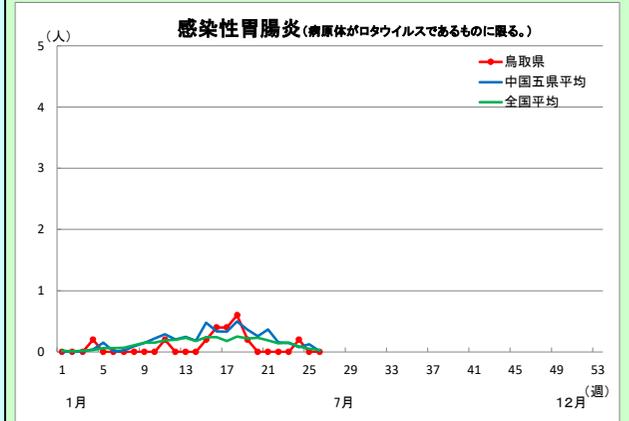
### 地区発生状況(定点当たり)



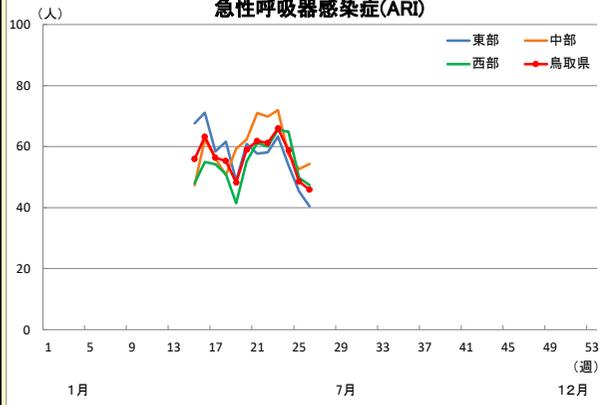
### 年次別発生状況(定点当たり)



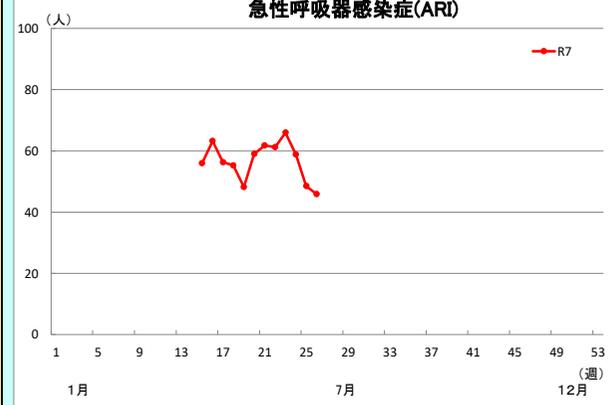
### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



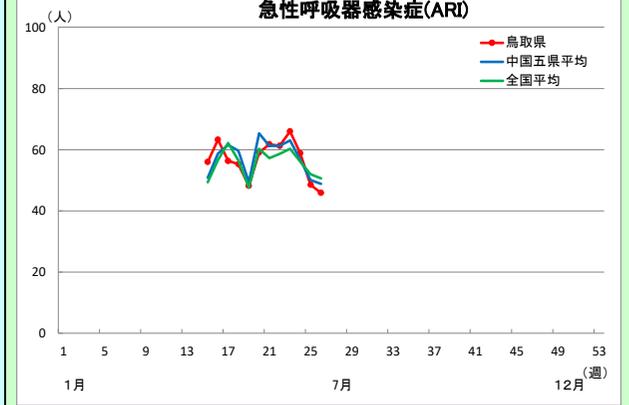
### 急性呼吸器感染症(ARI)



### 急性呼吸器感染症(ARI)



### 急性呼吸器感染症(ARI)



注)新型コロナウイルス感染症は、令和5年第18週(5/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。

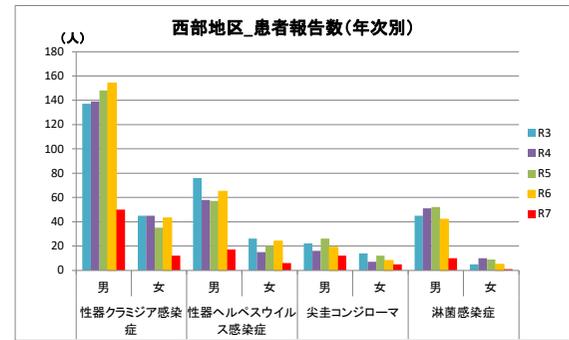
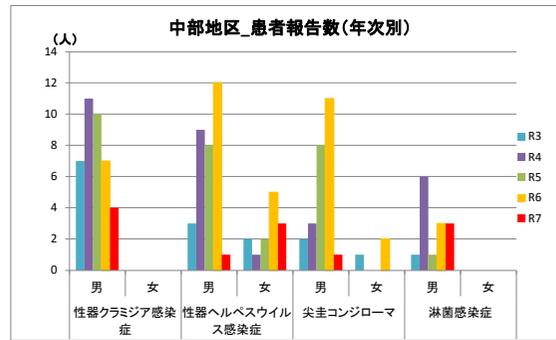
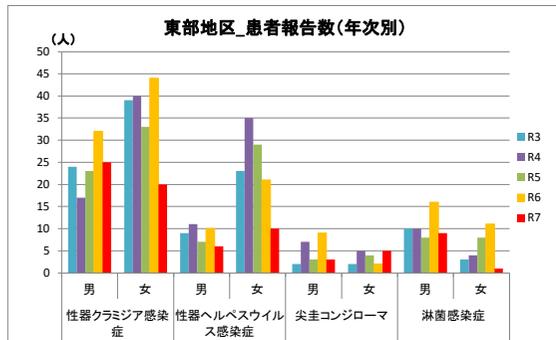
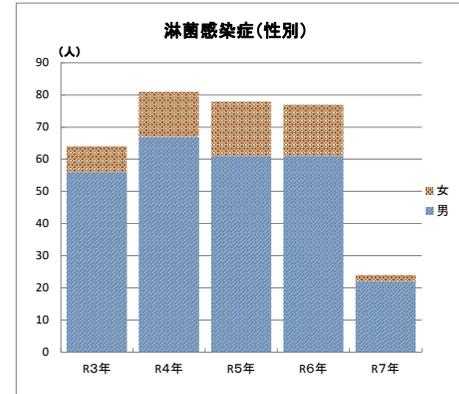
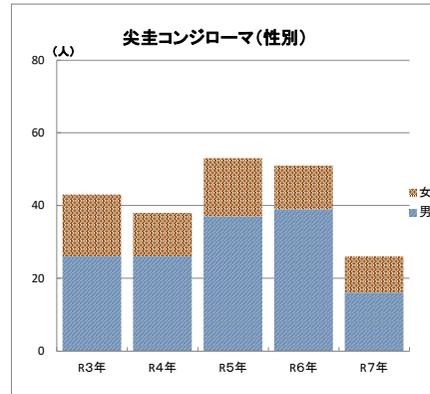
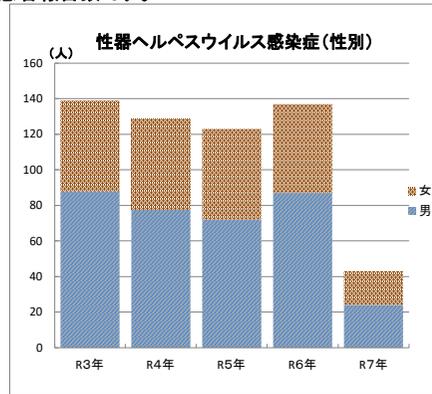
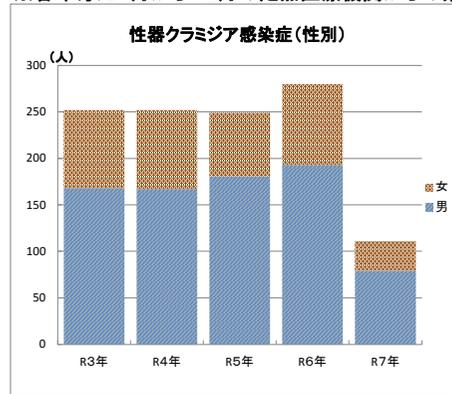
令和6年

定 点 数	疾 病 名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1~12月計			対前年累計比率		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
S	性器クラミジア感染症	9	6	15	10	11	21	27	10	37	14	8	22	16	5	21	16	5	21	21	12	33	27	5	32	15	5	20	10	10	20	16	7	23	12	3	15	193	87	280	107%	128%	112%
T	性器ヘルペスウイルス感染症	7	6	13	5	2	7	10	4	14	6	3	9	7	3	10	6	6	12	7	3	10	15	7	22	7	4	11	8	7	15	3	2	5	6	3	9	87	50	137	121%	98%	111%
D	尖圭コンジローマ	7	0	7	5	2	7	2	1	3	2	3	5	3	1	4	3	2	5	2	0	2	2	0	2	6	0	6	2	2	4	0	1	1	5	0	5	39	12	51	105%	75%	96%
7	淋菌感染症	5	3	8	11	3	14	2	1	3	8	1	9	7	2	9	7	0	7	8	1	9	5	2	7	3	0	3	1	1	2	1	1	2	3	1	4	61	16	77	100%	94%	99%
基 幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	7	1	8	4	2	6	8	6	14	10	2	12	4	3	7	4	4	8	4	3	7	2	1	3	4	2	6	8	1	9	9	4	13	4	6	10	68	35	103	103%	83%	95%
5	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	3	1	0	1	0	1	1	0	0	0	2	0	2	0	0	0	1	0	1	8	0	8	133%	0%	80%
5	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	100%	—	100%

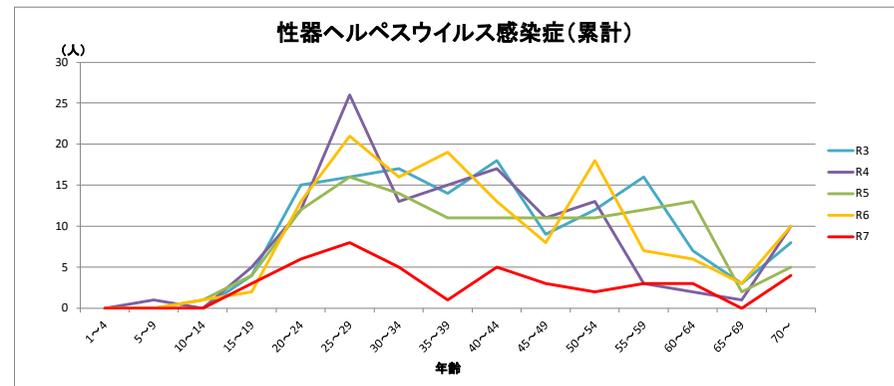
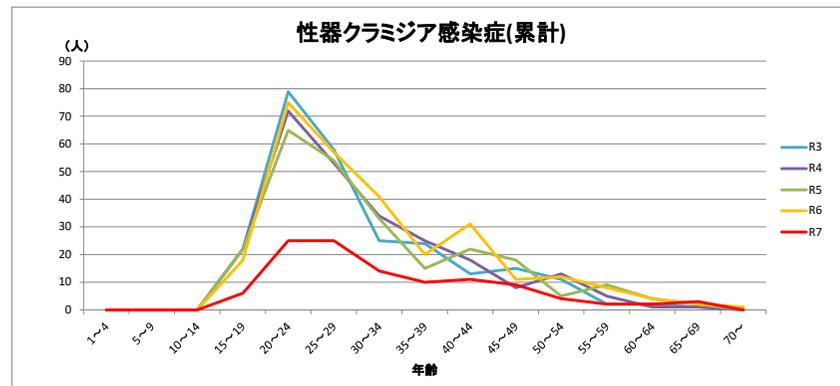
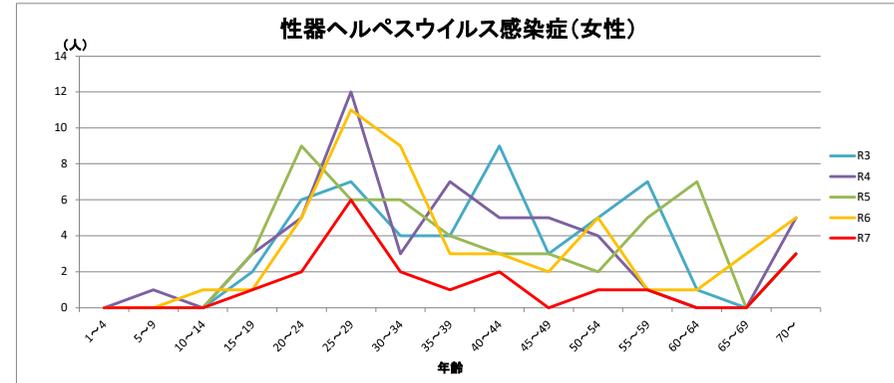
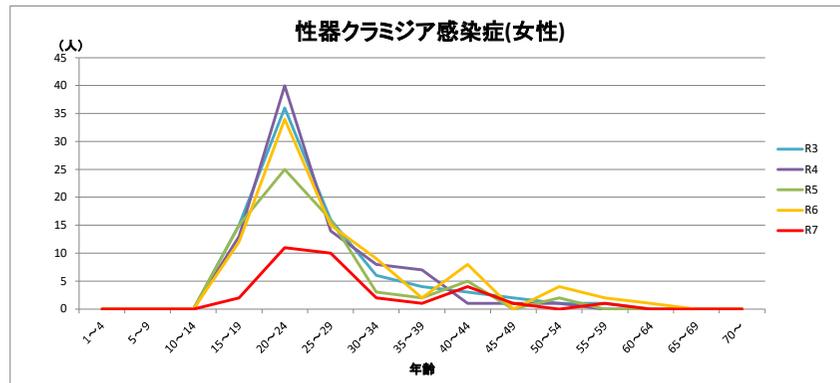
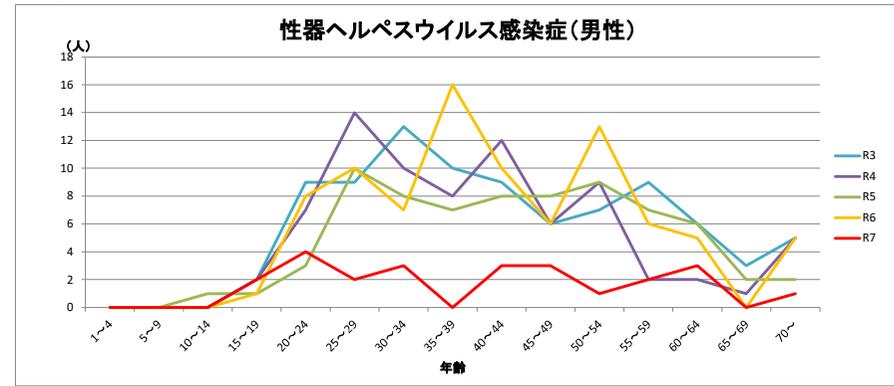
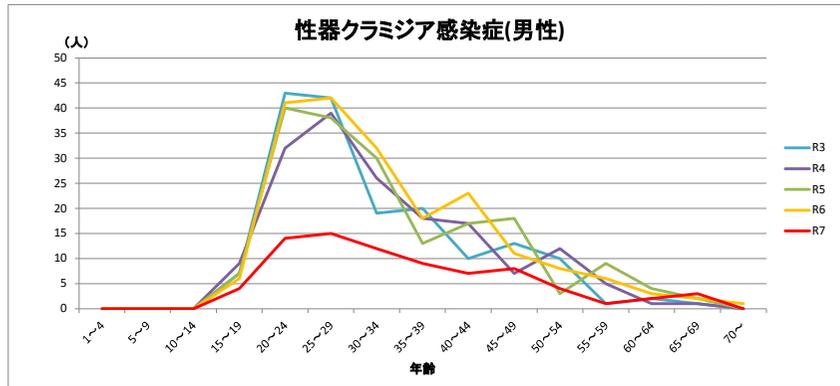
令和7年

定 点 数	疾 病 名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			6月計			対前年6月末累計比率					
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計						
S	性器クラミジア感染症	9	3	12	15	4	19	13	6	19	10	9	19	21	3	24	11	7	18																						79	32	111	86%	71%	81%
T	性器ヘルペスウイルス感染症	7	4	11	3	2	5	2	4	6	3	4	7	7	1	8	2	4	6																						24	19	43	59%	79%	66%
D	尖圭コンジローマ	0	1	1	3	1	4	4	4	8	5	3	8	3	1	4	1	0	1																						16	10	26	73%	111%	84%
7	淋菌感染症	3	0	3	4	0	4	5	0	5	2	0	2	3	0	3	5	2	7																						22	2	24	55%	20%	48%
基 幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5	2	7	9	5	14	5	5	10	6	5	11	3	2	5	6	1	7																						34	20	54	92%	111%	98%
5	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0	1	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0																						3	1	4	75%	—	100%
5	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1																						1	0	1	100%	—	100%

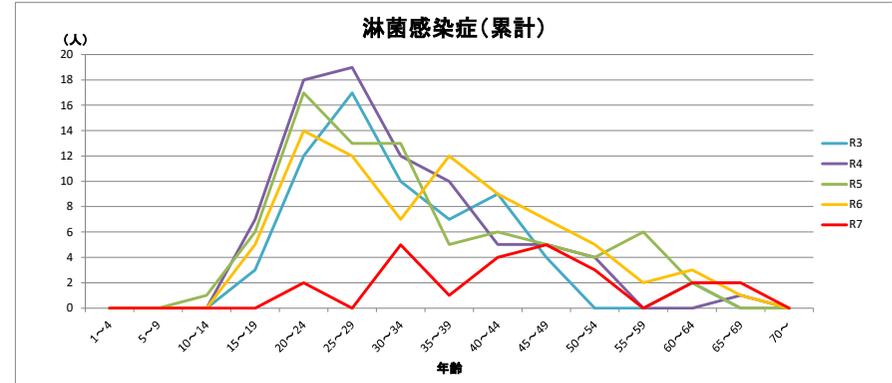
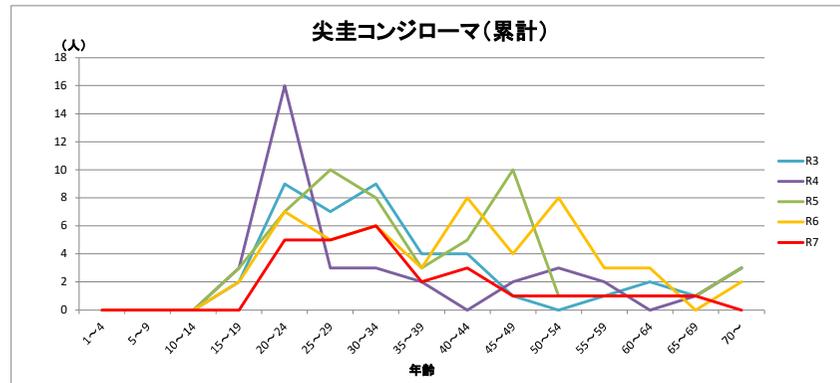
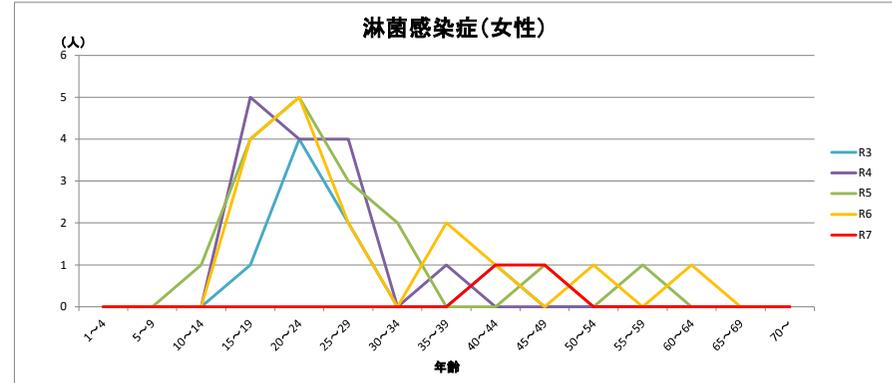
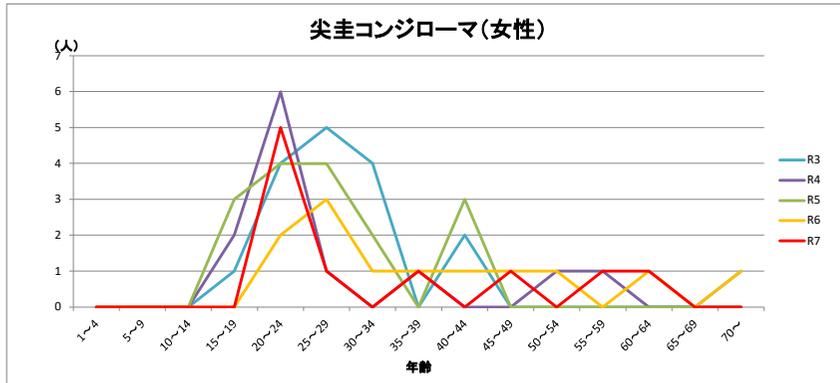
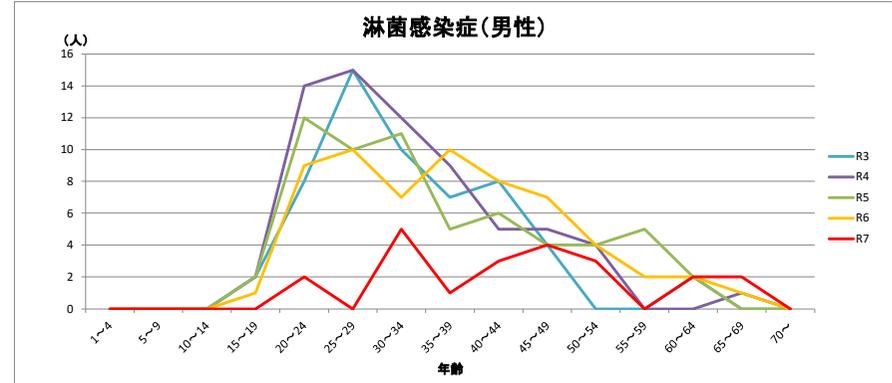
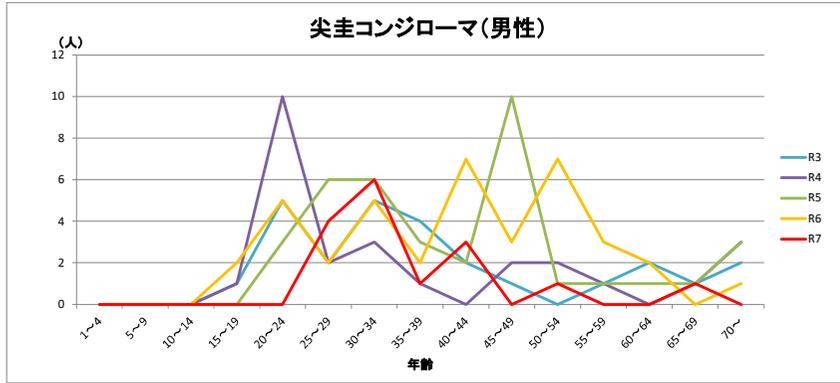
※各年毎に1月から12月の定点医療機関からの累計患者報告数です。



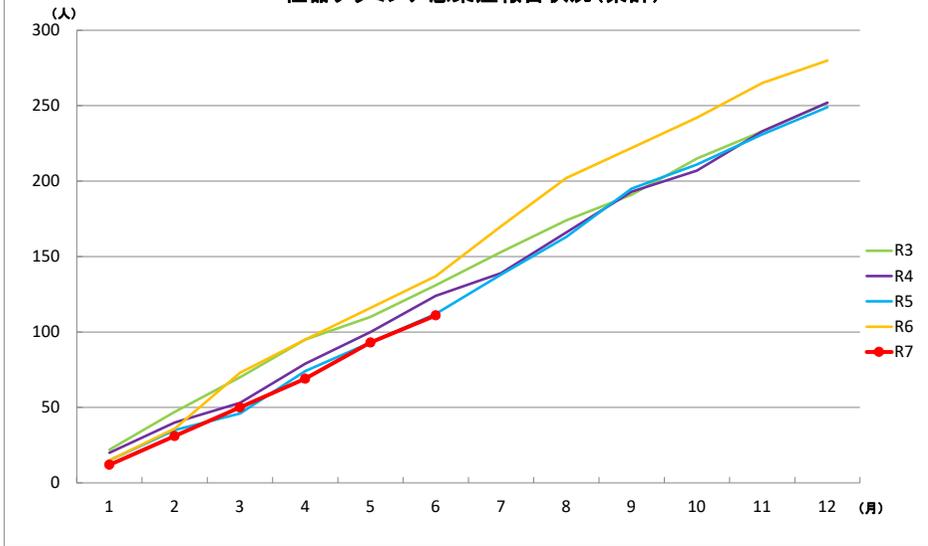
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



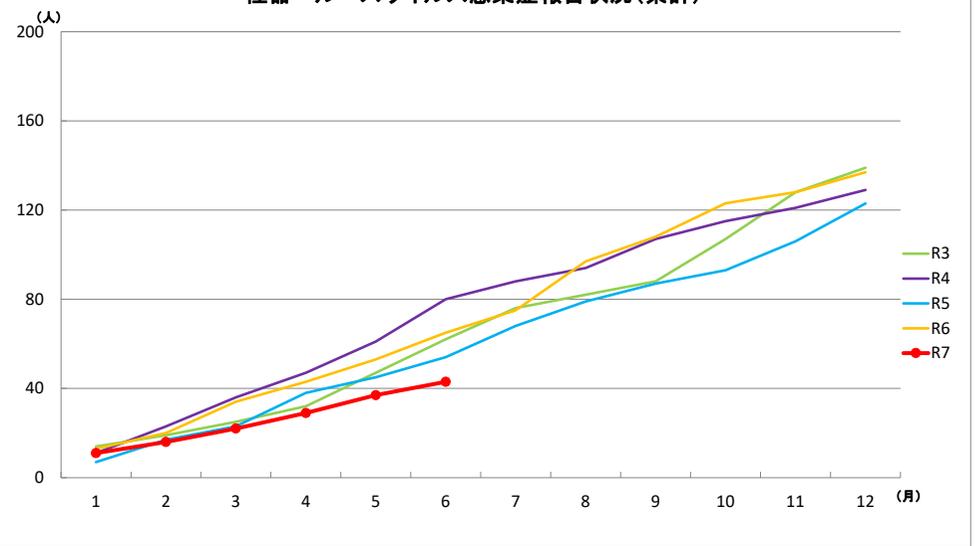
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



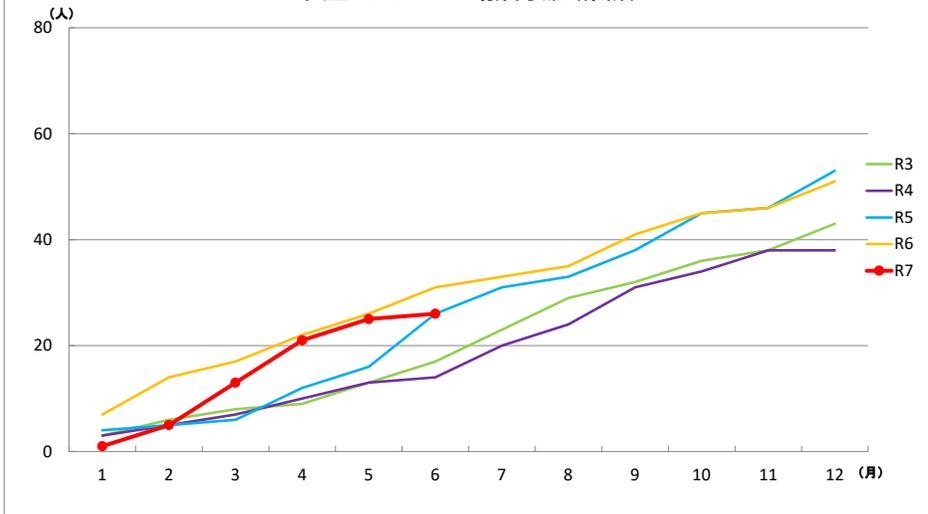
性器クラミジア感染症報告状況(累計)



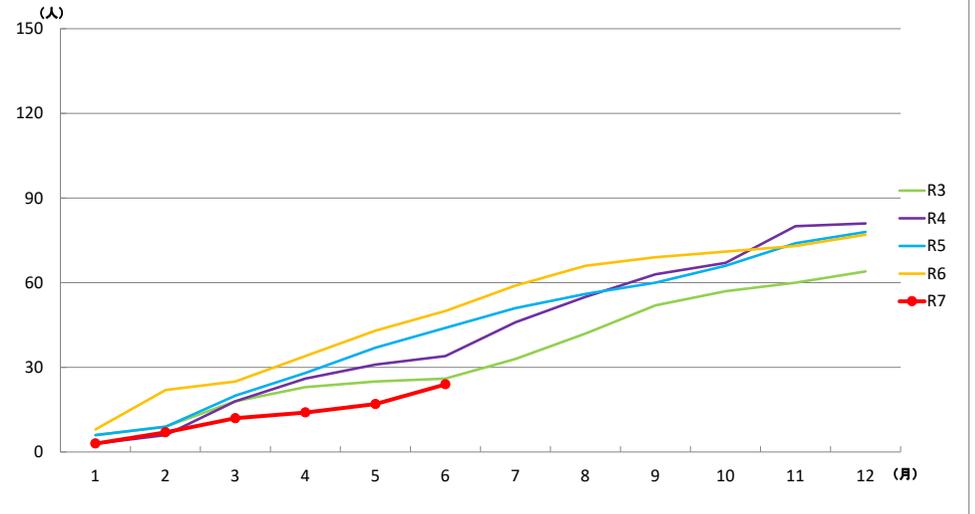
性器ヘルペスウイルス感染症報告状況(累計)

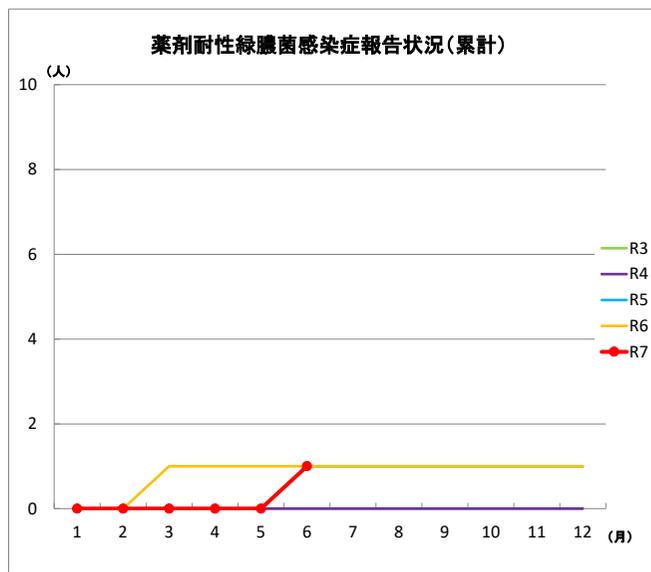
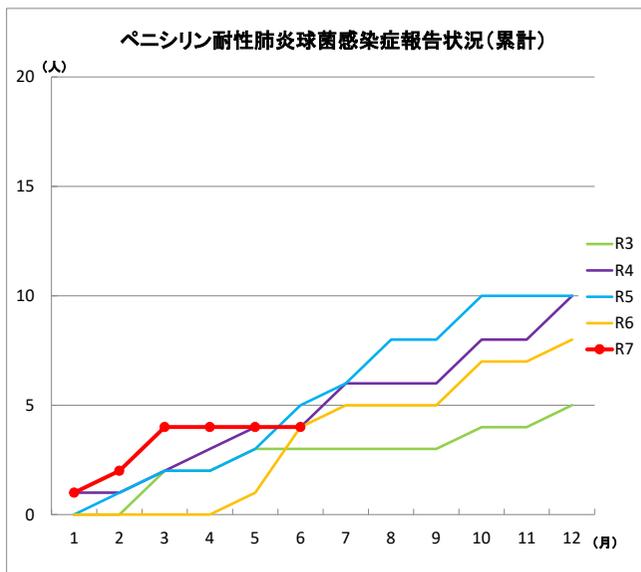
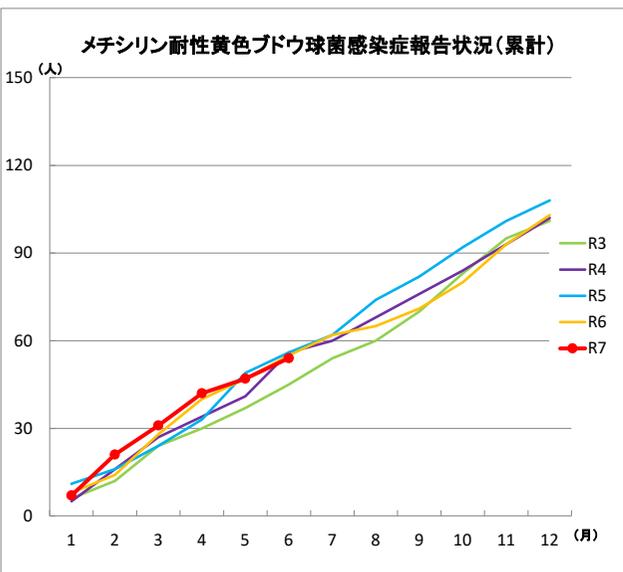
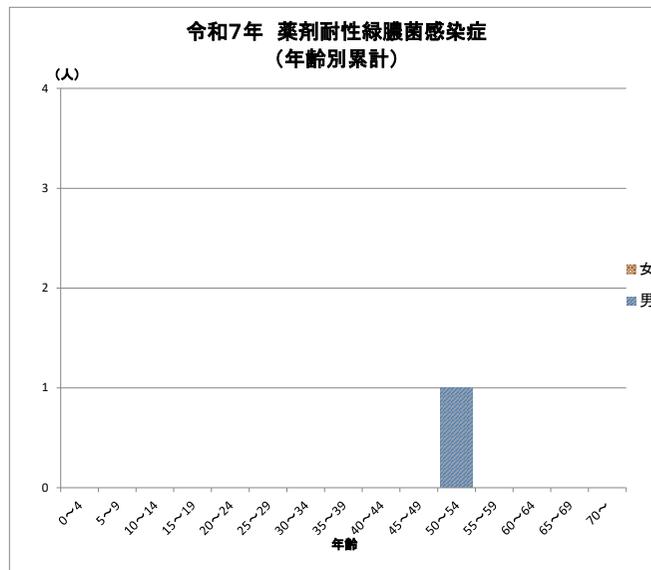
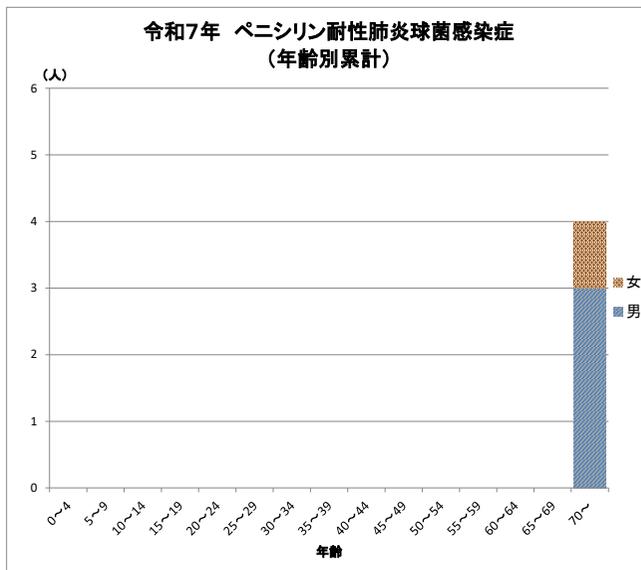
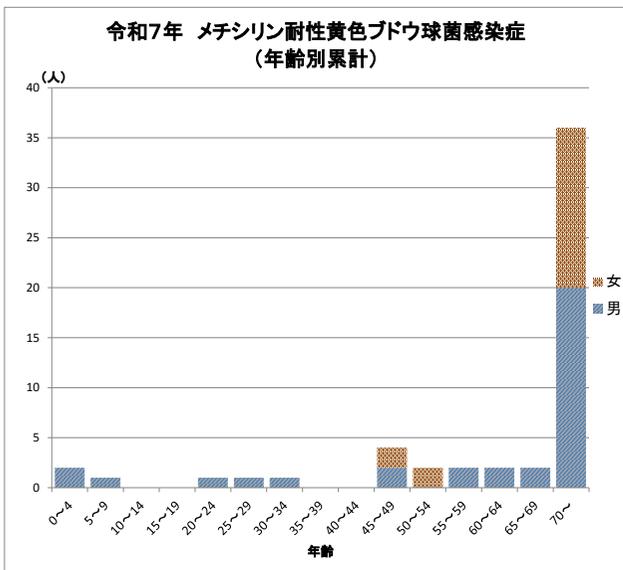


尖圭コンジローマ報告状況(累計)



淋菌感染症報告状況(累計)





# 鳥取県における感染症発生状況(全数報告分・令和7年)

令和7年6月30日 現在  
※( )は前年数値

## (1)2類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計								
													6月時点	年間							
急性灰白髄炎													0	(0)	(0)						
結核	3	(3)	3	(2)	3	(5)	4	(6)	6	(3)	4	(6)	(1)	(7)	(5)	(2)	(5)	(5)	23	(25)	(50)
潜在性結核 ※再掲		(1)			(2)	1	(2)	(1)	(2)	(1)			(3)	(1)				1	(8)	(13)	
疑似症患者 ※再掲																		0	(0)	(0)	
ジフテリア																		0	(0)	(0)	
重症急性呼吸器症候群																		0	(0)	(0)	
中東呼吸器症候群																		0	(0)	(0)	
鳥インフルエンザ(H5N1)																		0	(0)	(0)	
鳥インフルエンザ(H7N9)																		0	(0)	(0)	

## (2)3類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計			
													6月時点	年間		
コレラ														0	(0)	(0)
疑似症 ※再掲														0	(0)	(0)
細菌性赤痢														0	(0)	(0)
腸管出血性大腸菌感染症			(1)	(1)		(5)	(2)	(1)	(3)	(1)	(3)	(3)	(1)	0	(9)	(21)
腸チフス														0	(0)	(0)
パラチフス														0	(0)	(0)

## (3)4類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計			
													6月時点	年間		
マラリア														0	(0)	(0)
E型肝炎						1								1	(0)	(0)
A型肝炎									(1)			(1)		0	(0)	(2)
つつが虫病	1										(1)			1	(0)	(1)
日本紅斑熱					1	(1)	1	(1)	(2)	(2)	(2)			2	(1)	(8)
重症熱性血小板減少症候群					1	1	(1)		(1)	(1)				2	(1)	(2)
レジオネラ症	1	2	1	1	3	(2)	1	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(1)	9	(3)	(9)
レプトスピラ症														0	(0)	(0)
デング熱														0	(0)	(0)
チクングニア熱														0	(0)	(0)

## (4)5類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計								
													6月時点	年間							
アメーバ赤痢				(1)			(1)			(1)	(2)			0	(1)	(5)					
ウイルス性肝炎(E型・A型肝炎を除く)		1							(1)					1	(0)	(1)					
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)														0	(0)	(0)					
急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎等を除く)	1	(1)	1	(1)						(1)		(3)		3	(2)	(6)					
クリプトスポリジウム症														0	(0)	(0)					
クロイツフェルト・ヤコブ病			(1)											0	(1)	(1)					
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	(3)	1	(2)	1	(1)	1	(1)	(1)	(3)	(1)			4	(6)	(11)					
後天性免疫不全症候群						2			(1)					2	(0)	(1)					
無症候性キャリア ※再掲														0	(0)	(0)					
AIDS ※再掲									(1)					0	(0)	(1)					
その他						2								2	(0)	(0)					
侵襲性インフルエンザ菌感染症			(1)		1	1	(1)				(1)			2	(2)	(3)					
侵襲性髄膜炎菌感染症														0	(0)	(0)					
侵襲性肺炎球菌感染症	5	(1)	1	(2)	(3)	3	(3)		(1)	(1)	(1)	(1)		10	(9)	(13)					
水痘(入院例に限る。)					(1)		(1)							0	(1)	(2)					
梅毒	9	(2)	2	(5)	2	(1)	3	(2)	(2)	(5)	(7)	(6)	(2)	(5)	(2)	(2)	16	(17)	(41)		
播種性クリプトコックス症	1	1	1	(1)										3	(1)	(1)					
破傷風								(1)						0	(0)	(1)					
薬剤耐性アシネトバクター感染症														0	(0)	(0)					
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症				(1)	(2)				(1)					0	(3)	(4)					
ジアルジア症														0	(0)	(0)					
百日咳	28	(5)	44	(6)	74	(2)	120	(1)	98	(1)	100	(7)	(37)	(55)	(54)	(113)	(59)	(43)	464	(22)	(383)
麻疹					1									1	(0)	(0)					
風しん														0	(0)	(0)					

令和7年6月30日 現在

※( )は健康保菌者

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

① 月別件数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計								
													6月時点	年間							
令和7年													0	(0)							
令和6年		1	1		5	(2)	2	(1)	1	(1)	3	1	(1)	3	(1)	3	1	9	(3)	21	(6)
令和5年						1		5	9	(3)	2	(2)		2	(1)	1	(0)	19	(6)		
令和4年		2	(2)			1	2	3				3	(1)	3		3	(2)	14	(3)		
令和3年	1		3	(2)	1	(1)	2	(1)	2	(1)	1	(1)				9	(5)	10	(6)		
令和2年			1		2	(1)	7	(1)	2	3	(2)	7	(4)	3	(1)		1	10	(2)	26	(9)
令和元年		1	1	(1)	6	(1)	1	2		4	(1)	3	(2)	4		2	(2)	9	(2)	24	(7)
平成30年					3		1	4	(2)	9		4		1				4	(0)	22	(2)
平成29年	1	(1)			1	(1)	7	(3)	5	(2)	1			4	(3)	1	(1)	10	(5)	21	(11)
平成28年						5	(4)	3	(1)	6	(1)	1				1	(1)	5	(4)	16	(7)

② 血清型別件数

区分	O8	O26	O29	O55	O103	O111	O125	O128	O145	O146	O157	型不明	計								
令和7年													0	(0)							
令和6年		1		2	(2)		2			1	(1)	13	(1)	2	(2)	21	(6)				
令和5年		1	(1)									17	(4)	1	(1)	19	(6)				
令和4年					3					2	(2)	8		1	(1)	14	(3)				
令和3年					4	(2)				1	(1)	3	(1)	2	(2)	10	(6)				
令和2年	1	4	(2)	1		4	(2)	3	(1)	1	(1)	1		1	(1)	7		3	(2)	26	(9)
令和元年					3	(1)	4	(1)				15	(3)	2	(2)	24	(7)				
平成30年		2			3				1			16	(2)			22	(2)				
平成29年		1			2	(1)	4	(3)				1	(1)	10	(3)	3	(3)	21	(11)		
平成28年		1	(1)									14	(5)	1	(1)	16	(7)				

③ 年齢別件数

区分	～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計							
令和7年												0	(0)						
令和6年	3	3	1	3	(2)	5	(1)		2	(1)	1	(1)	2	(1)	1		21	(6)	
令和5年	1	2	(1)	1	1	4	(1)	2	(1)	4	(3)	2				2		19	(6)
令和4年	5	1	2	1	1	2	(1)					2	(2)					14	(3)
令和3年	1		1	(1)		1	(1)		1	(1)	1	(1)	3	(2)	2			10	(6)
令和2年	7	2	2	2	1	(1)	4	(4)	3	(1)	3	(3)				2		26	(9)
令和元年	9	(2)	2			4	(3)	2		1	(1)	3	(1)	3				24	(7)
平成30年	2	2				10	(1)	3	(1)	1	2		1					22	(2)
平成29年	3	(1)	1	2	(1)	2	(1)	2	(2)	2	(2)	4	(3)	4	(1)			21	(11)
平成28年	4	4	(3)		1	2	(1)	3	(2)	1	(1)					1		16	(7)

④ 地区別件数

区分	東部地区	中部地区	西部地区	計	
令和7年				0	(0)
令和6年	2	(1)	6	13	(5)
令和5年	3	(1)	7	9	(4)
令和4年	5	(1)	6	3	(2)
令和3年	4	(2)	3	3	(2)
令和2年	3		15	8	(4)
令和元年	6	(2)	14	4	(1)
平成30年	7		5	10	(2)
平成29年	1		8	12	(7)
平成28年	2	(1)	12	2	(1)

# 鳥取県病原微生物検出情報

(令和7年6月検出分 検体採取 令和7年5月及び6月)

令和7年7月18日

鳥取県衛生環境研究所

## 1 急性呼吸器感染症

臨床診断名が急性呼吸器感染症の検体68件について検査を実施したところ、以下のとおりの結果であった。

検査対象（ウイルス）

ライノ、メタニューモ、インフルエンザ-A型及びB型、パラインフルエンザ1-4、RS-A型及びB型、ボカ、SARS-CoV-2、エンテロ、アデノ、コロナNL63（※）

検査対象（細菌）

百日咳菌、*Bordetella holmesii*、*B. parapertussis*（※）、マイコプラズマ（※）

※印は5月21日搬入検体分より実施。

検出結果

68件中46検体（68%）から上記対象病原体が検出された。内訳は、ライノ：21件、ボカ：12件、ヒトメタニューモ：4件、RS-A型：1件、RS-B型：1件、SARS-CoV-2：3件、パラインフルエンザ1：1件、パラインフルエンザ3：14件、パラインフルエンザ4：2件、アデノ：9件、インフルエンザB型：1件、コロナNL63：1件、マイコプラズマ：2件であった。4月及び5月検出分と合わせた年齢別検出数は表1のとおり（ただし、検出件数は重複検出を含む。）。

表1. 急性呼吸器感染症の病原体、年齢別検出件数（令和7年4月～6月検出分）

病原体	年齢別検出数（ ）は標本数を示す									合計 (172)
	0-4 (77)	5-9 (11)	10-19 (7)	20-39 (11)	40-59 (25)	60-69 (17)	70-79 (13)	80-89 (6)	90-99 (5)	
ライノ	39	5	4	5	5	3	3	1		65
ボカ	26						1			27
ヒトメタニューモ	9				1	4	2			16
RS-A					1		1			2
RS-B	9	1							1	11
SARS-CoV-2	3	1		2	2		1	1		10
パラインフルエンザ1	1									1
パラインフルエンザ3	12				3	1	1	2	1	20
パラインフルエンザ4	5				1					6
アデノ	10	1		2						13
インフルエンザB型	1		2		1					4
百日咳		1								1
コロナNL63	2									2
マイコプラズマ		1	1							2
検出せず	10	3	1	6	10	9	6	2	3	50

アデノは1型が3件、6型が1件、C種5件であった。アデノC種は急性呼吸器感染症の原因となるウイルスであり、1型及び6型もC種の1つである。昨年同時期に流行した咽頭結膜熱の原因ウイルスであるアデノB種（3型など）は、検出されなかった。

インフルエンザB型1件はビクトリア系統であった。

## 2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の6件について検査を行ったところ、2件からノロウイルスが検出された。ノロウイルスの2件はいずれもG2でGII.P16-GII.4であった。また、アデノウイルス6型が1件、A群ロタウイルスが1件（10歳児）検出された。アデノウイルス6型（C種）は感染性胃腸炎と診断された患者便からよく検出されるが、扁桃に持続感染し小児の糞便中に間欠的に排出されるため、感染性胃腸炎との因果関係は明確ではない。

## 3 A群溶連菌感染症

臨床診断名がA群溶連菌感染症の7件について検査を行ったところ、A群溶連菌4件が分離されT1型1件とT型別不明3件であった。

※T型別：細菌表面にあるTタンパク抗原を血清凝集反応によって型別したもの。病原性タンパクをコードするemm型遺伝子型と密接な関係がある。T型別の方が試験が簡易なことから型別によく使用されている。T1型はemm1型であることが多く、emm1型は、劇症型溶連菌で最も多い型である。

## 4 RSウイルス感染症

臨床診断名がRSウイルス感染症の2件について検査を行ったところ、RSウイルスA型が1件、RSウイルスB型が1件検出された。

## 5 咽頭結膜熱

臨床診断名が咽頭結膜熱の1件について検査を行ったところ、アデノウイルスは検出されなかった。

## 6 手足口病

臨床診断名が手足口病及び手足口病疑いの2件について検査を行ったところ、エンテロウイルスはいずれも検出されなかった。

## 7 無菌性髄膜炎

臨床診断名が無菌性髄膜炎の1件について検査を行ったところ、エンテロウイルス、アデノウイルス、ムンプスウイルス、ヘルペスウイルスのいずれのウイルスも検出されなかった。

## 8 水痘

臨床診断名が水痘の1件について検査を行ったところ、水痘帯状疱疹ウイルスが検出された。

月別ウイルス等分離・検出状況（令和6年4月～令和7年6月）

ウイルスの種類	分離月	令和6年												計	令和7年												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
エンテロ	エンテロウイルス 型不明				1				1		2	1	1	6	1											1	
	コクサッキーA 2型													0												0	
	コクサッキーA 4型													0												0	
	コクサッキーA 5型						1							1												0	
	コクサッキーA 6型							1						1												0	
	コクサッキーA 9型													0												0	
	コクサッキーA 10型													0												0	
	コクサッキーA 16型									2	2	2		6												0	
	コクサッキーB 5型													0												0	
	エコー 3型													0												0	
	エコー 5型													0												0	
	エコー 6型													0												0	
	エコー 11型											1	1	2												0	
	エコー 18型													0												0	
	エンテロウイルス A71型													0												0	
その他のエンテロウイルス									1				1												0		
インフル	ライノ												0				25	22	18						65		
	インフルエンザAH3型												0			1									1		
	インフルエンザA(H1N1)pdm09								1		4	9	14	7	3	1									11		
	インフルエンザB型系統不明												0												0		
	インフルエンザB型ビクトリア系統				3								3				1	2	1						4		
	インフルエンザB型山形系統												0												0		
パラインフルエンザ													0			3	10	14						27			
ムンプス													0												0		
RS	RS-A												0			1	1	1							3		
	RS-B												0			8	4	2							14		
	A群ロタ												0					1							1		
	C群ロタ												0						1						0		
ノロ	アストロ				1	1			1			2	5	1			1								2		
	ノロ GI型												0												0		
ノロ GII型				1			1					2			4	4	5	2							15		
サボ	サボ 型不明										1		1		2	3	2								7		
	サボ GI型												0												0		
	サボ GV型												0												0		
アデノ	アデノ 型不明				1			1	1	1		3	7		1	2	5	3							11		
	アデノ 1型												0				1	2							3		
	アデノ 2型												0												0		
	アデノ 3型							1					1												0		
	アデノ 4型												0	1											1		
	アデノ 5型												0				1								1		
	アデノ 6型												0					2							2		
	アデノ 7型												0												0		
	アデノ 8型									2		1	3	1											1		
	アデノ 37型						1						1				1								1		
	アデノ 40/41型												0												0		
	アデノ 54型												0												0		
	アデノ 56型												0												0		
アデノ 64型												0												0			
ヘルペス	ヘルペス 3												0			1		1							2		
	ヘルペス 4												0												0		
	ヘルペス 5												0												0		
	ヘルペス 6												0												0		
	ヘルペス 7									1			1												0		
パルボウイルスB19													0												0		
A群レンサ球菌									1			1				1	3	4							8		
黄色ブドウ球菌													0												0		
B群レンサ球菌													0			2									2		
ヒトメタニューモ													0				12	2	2						16		
ボカ													0				7	11	9						27		
SARS-CoV-2													0				4	5	1						10		
HCoV-NL63													0					2							2		
百日咳													0				1								1		
マイコプラズマ													0						2						2		
セレウス菌													0												0		